

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ科学センター備品整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 競技スポーツ課 アスリート発掘・育成係 電話番号：058-297-7003

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,837 千円 (前年度予算額： 7,327 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,327	0	0	0	0	0	0	0	7,327
要求額	7,837	0	0	0	0	0	0	0	7,837
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 岐阜県スポーツ科学センター（GSSC）及び分館である御嶽濁河高地トレーニングセンターの機能向上・維持を図るため、測定用・トレーニング用機器の整備を行う。

(2) 事業内容

以下の備品を購入する。

- パルスオキシメーター 1 式（御嶽濁河高地トレーニングセンター）
- ワイヤレス計測デバイス 1 式
- グルートハムベンチ 1 台
- データ解析用ノートパソコン 1 台
- パワー計測システム 1 式
- フィードバック用タブレット端末 2 台
- ハイビジョンカメラ 1 台
- レッグプレス 1 台
- 立位ステッピング測定器 2 式
- ゲーム分析用パソコン 1 台
- リアルタイム心拍モニターライセンス 2 式
(GSSC・御嶽濁河高地トレーニングセンター)
- スポーツ動作分析ソフトウェアライセンス 1 式

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（県有施設の整備であるため）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	6,638	パルスオキシメーター 1式
		ワイヤレス計測デバイス 1式
		グルートハムベンチ 1台
		データ解析用ノートパソコン 1台
		パワー計測システム 1式
		フィードバック用タブレット端末 2台
		ハイビジョンカメラ 1台
		レッグプレス 1台
		立位ステッピング測定器 2式
		ゲーム分析用パソコン 1台
使用料	1,199	リアルタイム心拍モニターライセンス 2式
		スポーツ動作分析ソフトライセンス 1式
合計	7,837	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 後年度の財政負担

岐阜県スポーツ科学センターの機能向上と維持を図るため、整備計画を基本とし、測定対象となるトップアスリート等のニーズを踏まえながら計画的に整備していく。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県スポーツ科学センターの機能向上・維持のため、科学トレーニング計測にかかる測定備品について計画整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

機器の状態により整備機器の変動が発生することから、目標設定は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	リアルタイム心拍モニターや体成分分析装置をはじめ、測定機器の整備を行った。これらの機器の導入により、ジュニア層やトップアスリートのスキルチェックの向上が図られ、県のスポーツ科学トレーニング体制の拡充に寄与した。これまでに整備された機器は、今年度、県が強化指定した、個人34人、14団体に対し、延べ919回のサポートに使用された。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和5年度	リアルタイム心拍モニターやウェイトトレーニングバーベルセットをはじめ、測定機器の整備を行った。これらの機器の導入により、ジュニア層やトップアスリートのスキルチェックの向上が図られ、県のスポーツ科学トレーニング体制の拡充に寄与した。これまでに整備された機器は、今年度、県が強化指定した、個人35人、12団体に対し、延べ836回のサポートに使用された。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	リアルタイム心拍モニターやエアロモニタをはじめ、測定機器の整備を行った。これらの機器の導入により、ジュニア層やトップアスリートのスキルチェックの向上が図られ、県のスポーツ科学トレーニング体制の拡充に寄与した。これまでに整備された機器は、今年度、県が強化指定した、個人35人、15団体に対し、延べ1,311回のサポートに使用された。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県スポーツ科学センターにおける運動能力測定体制を、トップレベルで維持するため、最新機器の整備・更新が必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	最新機器の整備・更新により、最先端の運動能力測定機能の拡充が図られた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	備品は、経年劣化も進んでいるが、使用に際し安全性の支障が出ている物等必要最低限とし、効率的に実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 機器の機能維持のため、経年劣化や故障等への対応が常に必要である。また映像解析等の技術進歩に伴い、求められる機能を満たす機器の整備・更新が必要となる。(特に、Windows10のサポートが2025年10月に終了するため、セキュリティ面から更新が必要な機器がある。)

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も、現在の規格に適合しなくなった機器など、現在の使用に耐えない物件に絞り、機器整備・更新を要求する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	